

# 令和6年度とうきょうすくわくプログラム 活動報告

テーマ「かいこ」 蚕の飼育・成長の観察（全園児）

蚕を通して様々な素材を知る（5歳児・らいおん組）

テーマの設定理由

- ・毎年、かいこの幼虫から成虫になるまでの過程を観察している。なじみのあるかいこの成育から、さらに糸ができること、それらの糸を原材料としたものへの発見や興味・関心を広げる。
- ・少人数ずつの活動により、子どもたちの気づきや言葉・感じていることを共有する。

【活動期間】 令和6年7月～令和7年1月

【準備したもの】

- ・蚕 ・蚕のエサ ・ルーペ
- ・デジタルスケール・デジタル顕微鏡
- ・布（絹、綿、麻）
- ・糸（絹、毛糸、綿、麻、刺繍糸、レース）
- ・手織り機 など

【活動内容】

- ①蚕の飼育
- ②蚕の成長の流れを知ったり、大きさや長さ・色・におい等も含めて観察した
- ③蚕の繭から糸取りをして「絹」という素材を知りそこから他の素材へも興味を広げ、観察や織物づくりへと探求をすすめた

## 【活動中の子どもたちの様子】

### ①蚕の飼育

えさ(人工飼料) と桑の葉っぱ  
どっちが好き？  
飼育ケースをわけて比べてみよう。



(そっと触って) 「ひんやりして  
いて気持ちいい」  
「すべすべしてるよ」  
「背中のところがぱくぱくしてる」



「かいこさん、おはよう」  
「くわのはっぱは緑色ときみどり色どっちがおいしいかなあ」  
「きみどり色のはっぱのほうがやわらかいね」



「ちょっとこわ  
いなあ〜…  
でもさわって  
みたいなあ…  
さわれたよ！」





かいこの飼育ケースを玄関に展示して、  
保護者の方にも見ていただき成長の様子を共有しました。



## ②成長の観察

「ぷにぷにしてる」「長さがちがう」「うんちしてる」  
「立ち上がった!」「上からにおいがするのかな?」



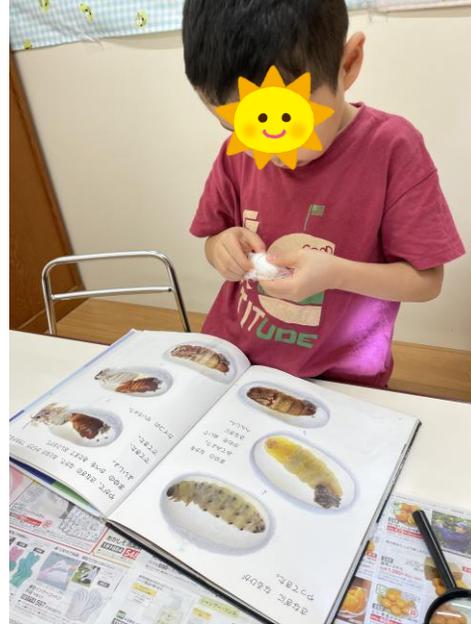
「虫メガネに乗せてみると裏が見える!」  
「紙の上よりテーブルの上のほうが吸盤が強い」  
「口をぱくぱくしてるー」  
「足が吸盤みたい」  
(息を吹きかけて)「風が当たると頭が動く」  
「おしりにとげがあった 触っても痛くない」  
「前よりにおいがなくなった」



まゆになったよ！



「どうやって入ったんだろう？」  
「わたあめみたい」



透明の筒に入れて光を当てると繭を作っている様子がよく見えるよ

「（本みたいに）これはもう透けて見えないんだね」



まゆの重さはどれくらい？

【振り返り】

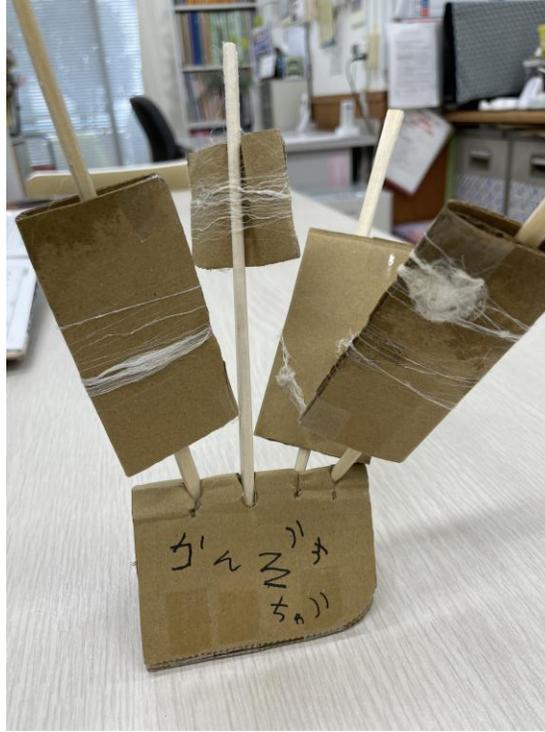


今までの観察では使用していなかった道具(虫めがねやはかりやライト等)を使うことによって、子どもの観察に深みや広がりが出た。保育士側もどうしたら観察しやすいか・活動の広がりがあるか等考えながら環境や用具の手配をすすめるようになった。

## 繭を使ったさまざまな活動

「太いのとか細いのとかいろいろな糸になってる」  
「においはくさい」

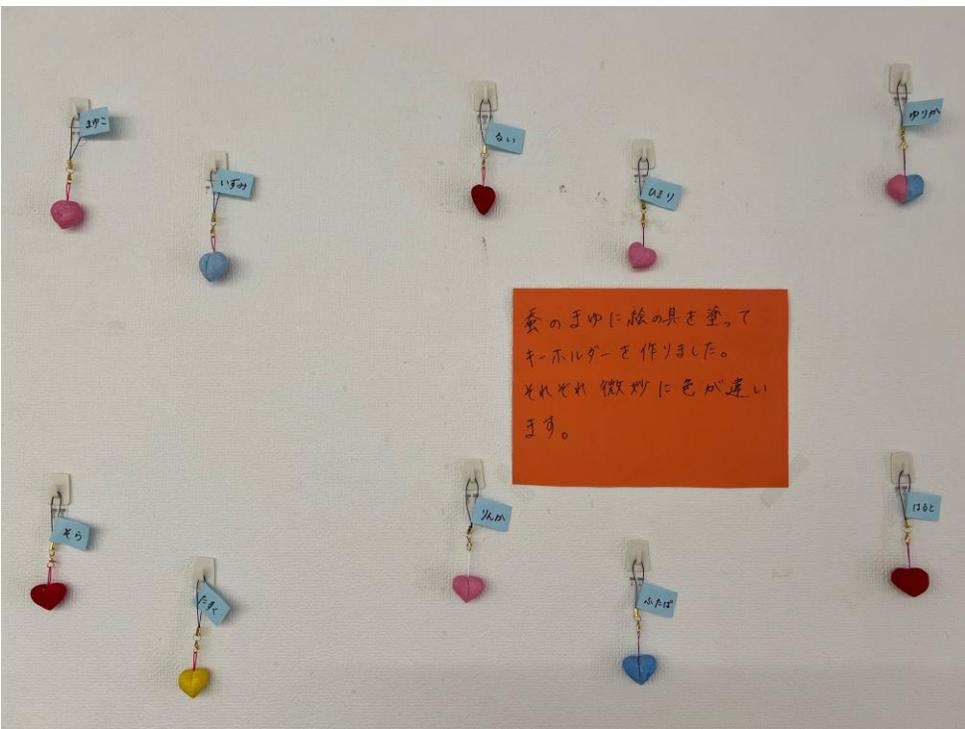
絵の具で色を付けて  
キーホルダーを作りました  
いろいろな色のハートが  
かわいいです



繭から糸を取りました  
お湯の中でやわらかくして糸の先を見つけたら、くるくると台紙に巻き付けて乾かします

### 【振り返り】

糸取りまでの活動を行うのは今回初めて。  
自分で糸取りをしてみて、難しさを感じつつ、  
取れた嬉しさ、糸の輝きなども感じる事が  
できていた。





③かいこを通じて  
様々な素材を知る

「こっちのほうか  
サラサラしている  
ね」  
「さわってみて」



「たくさんの糸がまきついでる」  
「ふわふわ～」

### 【振り返り】

手触り・見た目・糸、布の構造を知った。  
それぞれの素材の違いに大きな反応を見せていた。  
さらに顕微鏡を用いての観察では、用意していた素材だけにとどまらず、様々なものを見たり、友だち同士で感想を言い合っていた。

「今度は毛を見てみようよ」  
「ピントはこうやって合わせるよ」  
「あった！」



電子顕微鏡で  
素材の構造などを  
観察する

「あみものみたい！」





### ③織り物制作

織り機を使って機織りに挑戦しました。  
すてきなマフラーやコースターが次々と完成しました。



### 【振り返り】

顕微鏡で観察しているときの「編み物みたい」という言葉から、自分たちでも毛糸で作ってみようと活動が広がった。  
今回はコースターの制作までになったが、作ったものを顕微鏡で観察したり、毛糸以外の素材も使用してみてもよかったのではないかな。

